



神奈川県における 『がん教育』の取組み

H26.8.30.
神奈川県保健福祉局保健医療部
がん対策課



H24年6月
「がん対策推進基本計画」

(厚生労働省)

〔目標〕

- ・5年以内
- ・学校でのがん教育のあり方
- ・検討結果に基づく教育実施

H25年7月
「がんの教育に関する検討
委員会」の設置
(文部科学省)

H25年3月

「神奈川県がん対策推進計画」
⇒「がん教育の推進」

〔目標〕

H29年度までに、がん教育教材
を作成し、すべての学校現場へ
の導入をめざす



『どのように目標を達成するか！？』

がん教育実施の課題

必要であると感じていても、
学校現場での取組みがなかなか進まない。

その理由は…



- 必要性、目的、実施方法、影響がよく分からない
- 学校現場の現状(強い負担感)
- 厚生労働省と文部科学省の壁
- 県庁と学校現場の壁
- 県庁内の壁(保健福祉部局と教育委員会)





Strategy ～戦略～

- ① 必要性と目的の明確化
- ② 実施方法の明確化 (先進事例の収集)
- ③ 関係者の理解と参画
- ④ 実施の裏づけとなる根拠や予算の明示
- ⑤ 継続性の確保



神奈川県での取組み（H25年度）

① 必要性と目的の明確化

神奈川県がん対策推進計画

がんにならない取組みの推進

がんの早期発見

がん医療の提供

がん患者への支援

がんに対する理解の促進

がん教育

がん教育
の推進



② 実施方法の明確化 (先進事例の収集)

全国のがん教育取組み状況の調査

9団体のうち6団体で「教育委員会」と連携している



教育委員会など
関係機関との『連携』が必要



③ 関係者の理解と参画

「神奈川県がん教育検討会」の設置・開催

実施方法や内容、活用教材等について検討

県教育委員会の理解と参画(クロス・ファンクシオン)

検討委員は、医師、がん体験者、医師会、
学校保健連合会、PTA協議会など・・・

**県関係セクションや 関係機関との
緊密な連携体制の構築**



④ 実施の裏づけとなる 根拠や予算の明示

H25年3月 「県がん対策推進計画」策定
→ がん教育の実施を1つの計画として位置づけ

H25年度 がん教育検討会を3回開催
→ H25年度当初予算 255千円

H26年3月 「県がん克服条例」改正
→ 普及啓発とは切り離して、一条新設

H26年度 がん教育モデル事業の実施を計画
→ 文部科学省のモデル事業として採択


委託先：県教育委員会



⑤ 継続性の確保

- 学習指導要領改正の動向
- 教育委員会等の関係機関の主体的関与
- 実施主体となる現場を最重視
- 保健福祉と教育の両輪体制

常に情報と意識の共有を図ること



がん教育の実際

「県がん教育検討会」検討内容



実施方法と教育内容

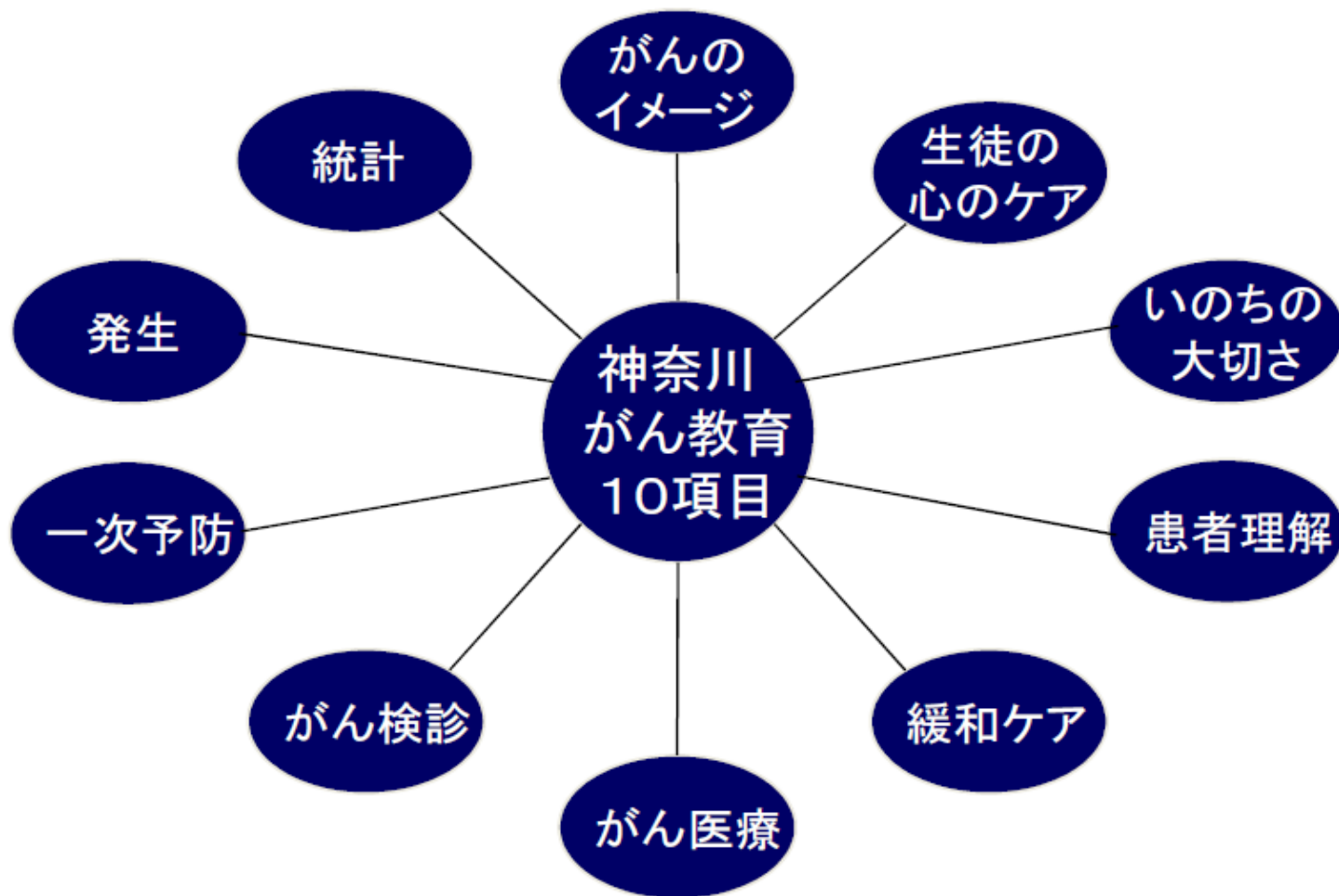
◇ 実施方法

- H26年度はモデル事業として実施（3校を計画）
- 国の動向を注視しながら、随時検討していく

◇ 教育内容

- 「神奈川がん教育10項目」を作成

神奈川がん教育10項目





活用教材

DVD

- ❖ 前述の神奈川10項目を満たすDVD教材を活用する。(日本対がん協会が作成中)

パワーポイント

- ❖ DVDの補足資料として、神奈川県独自の統計データ(がん死亡者数、生存率等)を盛り込んだパワーポイント教材を作成し、教材とする。

体験談

- ❖ DVD・パワーポイントに加え、がん体験者の体験談を子ども達に聞いてもらうことにより、がんは誰にでも起こりうることを肌で感じてもらう。

がんを知ろう！

神奈川県



平成26年3月作成 無断複製・転載禁止

質問

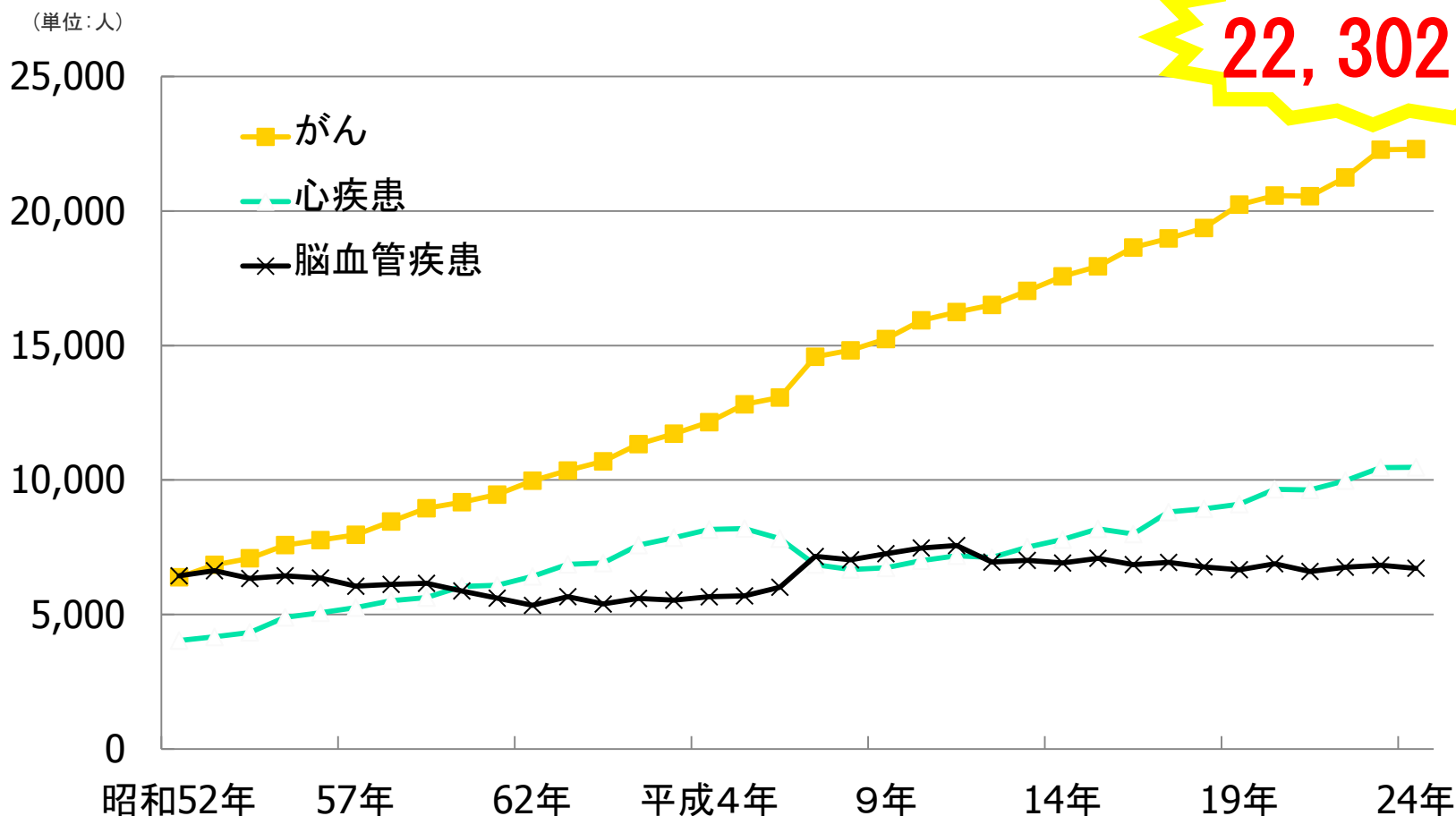


がんで、なに？



がんは死亡原因の第1位！

がんで亡くなる人は、どんどん増えている！



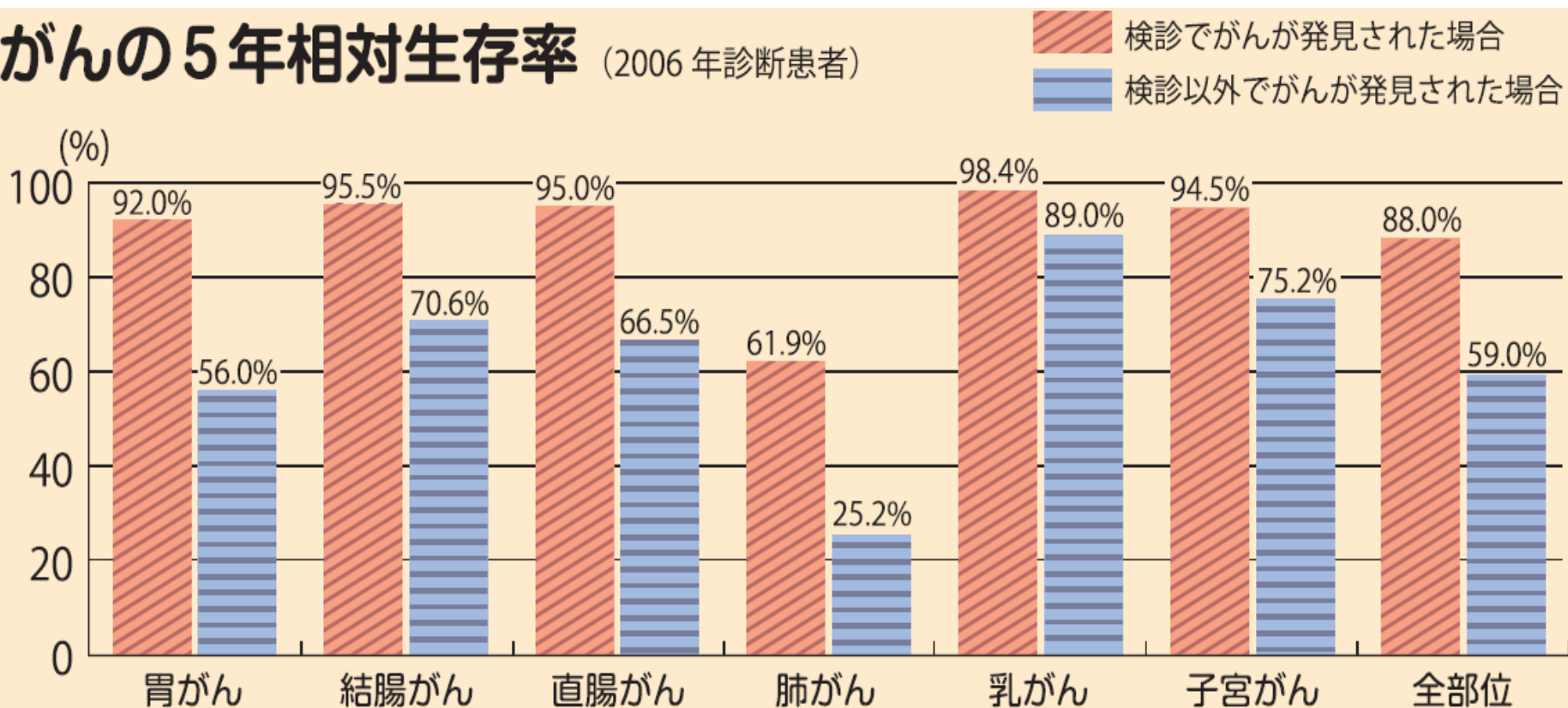
22,302人

出典:平成24年神奈川県衛生統計年報

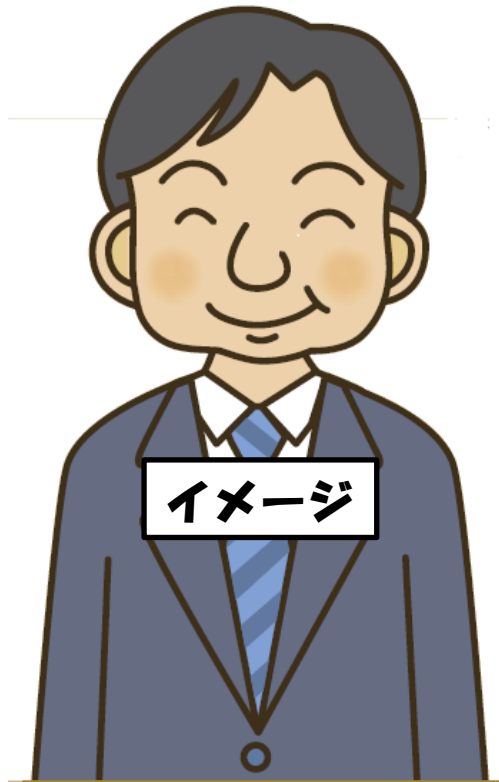


がん検診で「がん」を発見できれば、
がんが見つかって、
5年後の生存率が高いです！

がんの5年相対生存率 (2006年診断患者)



がんを体験された方から話を聞いてみよう！



お話しただく方の写真を掲載

<Aさんのプロフィール>

※ 実際にお話しいただく
がん体験者の方の
プロフィールを記入



神奈川県での取組み（H26年度）



① モデル授業の実施(3校)

② パワーポイント教材補助資料作成

③ がん教育協議会の設置・開催

⇒①～②、今後のあり方等について検討

県教育委員会が文部科学省の委託事業
「がんの教育総合支援事業」を受託し実施

引き続き、
県関係部署や関係機関との連携強化を図る

Pink Ribbon Kanagawa 2013 ~Light up~

